

きかせてください！
もちの思い出 NO 14

お餅を食べるとほっとしませんか。日本のスローフードであるお餅は食べる人の心まで温かくやわらかくしてくれる気がします。日本人のハレ食だったお餅も近年は食べる機会が少なくなつてまいりました。皆様方の餅にまつわるいろいろなお話や思い出などをぜひお聞かせください。

□札幌市 杉山様 ◆
小学生の頃は、祖父母と一緒にもちつきをして、年末は楽しく過ごしていました。もちを食べるとその時の家族みんなの笑顔を思い出します。そんな私も所帯を持ちましたので、できれば昔のように、今度は自分たちの子供たちと一緒に、楽しいもちつきができたらなと思います。



□千葉県千葉市 吉田様 ◆

まだ小学生の頃、母方の実家で（千葉県）で、年末に毎年もちつきをやっていました。つきたての餅をきな粉につけて食べるのが大好きでした。大好きだった叔父が毎年餅をついてくれましたが、今は病院で寝たきりになってしまいました。古き良き昭和時代の最後の世代として、がんばって長生きしてもらいたいと思います。



□八王子市 岩見様 ◆

昨年娘二人の珍道中の途中で立ち寄ったお店がこちら。「おいしいお餅があるよ」とのことです。来てみました。我が家の雑煮とは違って美味しかった・・・でも、我が家の雑煮も娘たちに伝えていけるものと思っています。

□札幌市 木幡様 ♥

子供の頃、祖父母の住む水沢に暮らしていたことがあります。どの家にも当たり前の様にもちつき機がありました。金ヶ崎のいろいろなお餅が食べられる店に連れていってもらったことが、忘れられずにいました。今日は同じようなお餅が食べられ、しかもとても素敵な雰囲気のお店に出会え、汽車に乗り遅れて良かったです。



□埼玉県越谷市 中村様 ♥

おじいちゃんちに行って、のし餅をストーブで焼いて、きな粉をつけて食べるのがお正月の思い出です。今では雑煮を食べる機会も少なくなつてしまいました。今日美味しいお雑煮をいただいで、今度は自分で作ってみようと思いました。具だくさ

んの野菜に感激です！
ごちそうさまでした。



□さいたま市 保木様 ◆

お店に寄ること三回目。今日は奥州街道ウォーク。ひんやりした中、有壁宿に。佐藤本陣の建物に圧倒され、外右手を見やれば、萩野酒造。飲みたいなあ。想像していなかった山の中、雑木林の雪道を踏み分けると、まさかまさかの旧道が残っていました。一関に入ればお目当ては当然、ふじせいもち膳。酒の一覧に「有壁の隠し酒」。初めとシメは最高。記念に残る街道ウォーク。餅の味と共に大満足でした。

